

富士河口湖町立 教育センターだより

No.13



平成25年10月11日 文責 高尾久美子

姿を変える川・・・「川の学習」

毎年センター主催で行われる川の学習が今年度も無事行うことができました。昨年度から引き続き倉澤正徳先生(前大石小学校長)と新しく渡辺正利先生(前湖南中学校長)にお手伝いいただきました。

9月の大型台風の影響や当日の悪天候のため延期になった学校もありました。特に台風から3～4日たった時期は、川の流が速く水の量も多く危険を感じました。鹿留川は、夏休みに先生方と研修を行ったときとはまったく違った姿を見せていました。毎年川での事故は後を絶ちません。川は、癒しを与えてくれますが、危険と裏腹になっています。この学習を通して中流と上流の様子と流れの違いや川の内側と外側の違い、川の働き、そして川はいつも同じではない「姿を変える」ということを学ぶことができました。



<子どもたちの感想から>

*上流と中流の流れのちがいが大きくてびっくりしました。ぼくは、バケツ体験の時、中流はあまり重くなかったのに上流へ行ったら流されそうになりました。ペットボトル体験の時、外側と内側の速さのちがいがよく分かりました。石の形も上流と中流ではちがいました。上流は角がたくさんあって大きかったけれど中流は丸く小さかったです。箱めがねで川の底を見た時、小さな砂や石がたくさん動いていました。今日は本当にたくさんのことが学べました。

*ぼくは鹿留川には、一回行ったことがあるのですが、その時は台風が来ていてすぐに帰りました。でも、昨日行っていろいろなことを3つ知りました。一つ目は中流より上流の流れが速いことがわかりました。二つ目は外側と内側では、外側のほうがけずられているということがわかりました。三つ目は中流と上流では、石の大きさがぜんぜんちがいました。中流は丸い石だったけど上流の方は、見たことのない大きな石があってびっくりしました。いろいろなことを教えてくださってありがとうございました。

<先生方から>

*“百聞は一見にしかず”で水の力を体感して、本や映像では得られない真の知識を得ることができたようです。単一の学校ではできないことなので、センターで企画・運営していただけて本当に有難かったです。

*この川の学習を体験するとしないとの違いで、学習の習熟度が違うことを感じました。少し寒い時期でしたが、子どもたちにとって忘れられない思い出となったことでしょう。